

# 「救われる側から救う側へ」

大東消防署救助隊 消防士 高村 晃司（平成26年入職）

## 消防士への憧れ

私が消防士になりたいと強く思うようになったのは、東日本大震災がきっかけでした。当時、高校生で、親元を離れ野球部に所属し、寮生活をしていました。野球部に宮城県出身の仲間がおり、家族と連絡が取れない状況だということ、部員全員で東日本大震災のニュースを見ることになりました。そこで必死に要救助者を救出している消防士の姿を見て、こんな消防士になりたいと思い、消防士を目指しました。



## アットホームな職場



配属されてから強く感じることは、とても良い環境で仕事が出来ているということです。大東四條畷消防組合の職員数は、他市の消防本部と比べると決して多くはありませんが、その分、アットホームでより親密な関係が築かれており、多くの先輩職員の方々とコミュニケーションを取ることができます。コミュニケーションを取ることが、隊員間の連携強化や、安全・迅速・確実な現場活動に繋がっていると思います。

## 強い気持ち

私たちは、災害現場で絶対に助けるという強い気持ちを持って活動しています。受験生の皆さんも、消防士になるという強い気持ちを持って頑張ってください。大東市、四條畷市の市民の安心・安全を一緒に守っていきましょう。

